

町田市環境マネジメントシステム2022年度実績報告書のポイント

町田市では、2022年3月に「町田市第5次環境配慮行動計画（地球温暖化対策実行計画「事務事業編」）」（以下、本計画）を策定し、目標達成のためのエコオフィス活動、温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。

町田市環境マネジメントシステムは、本計画に掲げた目標を達成するため、市内の小中学校や市民病院、下水処理場などを含めた市の全施設を対象とした市の温室効果ガス排出量や廃棄物排出量等の削減、環境法令の遵守を進行管理する仕組みです。

なお、今回の報告は、前計画である「町田市第4次環境配慮行動計画」（以下、前計画）から本計画に移行して初めての実績報告です。

環境マネジメントシステムはP D C Aサイクルで運用しており、今回の町田市省エネルギー等対策会議では、点検・報告（Check）に関する取組として、町田市環境マネジメントシステムにおける2022年度の実績等をご報告いたします。

システムの運用イメージ



（参考）環境配慮行動計画における目標の変更点について

町田市では、2017年度に前計画を策定し、庁内の省エネ等に係る取り組みを推進してきました。なお、計画の変更に伴い、温室効果ガス排出量削減に関する基準年度は国が設定した基準年度に合わせ、2013年度としました。

また、計画の変更の際に、評価指標についても見直しを行いました。

温室効果ガス・エネルギーについては、より適正な把握が行えるよう、非エネルギー起源^{※1}を対象に含め、排出係数については基礎排出係数^{※2}を使用することとなりました。

資源（廃棄物）について、前計画では全ての市有施設を評価の対象に含めていましたが、感染症や災害対応等の外的要因により、廃棄物削減量の増減に関する適正な評価を行うことができませんでした。このことから、本計画では、エコオフィスの取り組みによる効果を適正に評価するため、外的要因による影響が少ない市庁舎のみを評価の対象とし

した。なお、取組の指標と目標値については、「町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン」と整合を図っており、公共施設から排出される事業系ごみの削減の取組に関する進捗点検については、町田市廃棄物減量等推進審議会で行ってまいります。

資源（紙）については、前計画で定めた目標「2021年度までに2015年度比13%削減」の目標を達成したことや、紙削減に関する取組が庁内に浸透したため、本計画の指標からは削除しました。ただし、市役所全体の紙の使用量や増減率は引き続き把握・管理を行い、廃棄物の発生抑制、3Rの推進に取り組んでまいります。

※1 工業プロセスの化学反応や廃棄物の焼却などで発生する温室効果ガス等（清掃工場の一般廃棄物の焼却処理や下水処理場の下水処理等）を非エネルギー起源といいます。また、化石燃料の使用により発生する温室効果ガス等（電気やガス等）をエネルギー起源といいます、

※2 電力の排出係数には、「基礎排出係数」と「調整後排出係数」という2種類の係数があり、電力小売事業者が取り扱う電気の性質等によって、事業者ごとにそれぞれの係数が設定されています。国への温室効果ガス排出量報告においては、費用負担（再エネ賦課金）や企業の社会的責任の観点からバランスの取れているとされている「調整後排出係数」を用いることになってはいますが、地方公共団体の計画については、電力自体の価値を表す「基礎排出係数」を算定に使用することとされています。

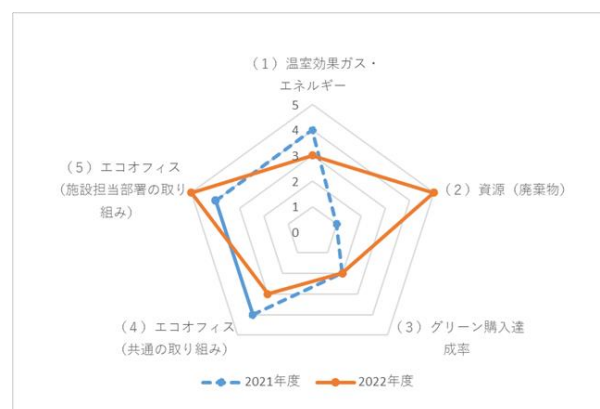
前計画からの主な変更点

	第4次環境配慮行動計画	第5次環境配慮行動計画
温室効果ガス排出量削減に関する目標値及び実績	(目標) 2021年度までに2015年度比で6%削減 (実績) 2015年度比3.6%削減(2021年度実績)	(目標) 2030年度までに2013年度比で46%削減 (実績) 2013年度比29.8%削減(2022年度実績)
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガス・エネルギー ※<u>非エネルギー起源を含まない。</u> ※<u>調整後排出係数を使用。</u> ○資源（廃棄物） ※<u>市有施設全ての廃棄物</u> ○資源（紙） ○グリーン購入達成率 ○エコオフィス活動（職員共通） ○エコオフィス活動（施設担当部署） 	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガス・エネルギー ※<u>非エネルギー起源を含む。</u> ※<u>基礎排出係数を使用。</u> ○資源（廃棄物） ※<u>市庁舎のみの廃棄物</u> ○グリーン購入達成率 ○エコオフィス活動（職員共通） ○エコオフィス活動（施設担当部署） <p>※<u>資源（紙）は評価削除</u></p>

1 活動テーマ別の実績評価及び評価基準

2022年度の町田市環境マネジメントシステムについて、5つの活動テーマを実績に基づき5段階で評価を行いました。温室効果ガス・エネルギー及び廃棄物排出量は、第5次環境配慮行動計画にて目標値が新たに設定されたため、評価基準も変更しました。

活動テーマ別の実績評価



評価基準

	評価基準 (案)					
	評価対象	1	2	3	4	5
(1) 温室効果ガス・エネルギー	2013年度比	±0%超	-11.5%以上	-23%以上	-34.5%以上	-46%以上
(2) 資源 (市庁舎の廃棄物)	2019年度比	+5%以上	±0%超 +5%未満	±0%以上 -5%未満	-5%以上 -10%未満	-10%以上
(3) グリーン購入達成率	購入率	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上
(4) エコオフィス (共通の取組)	活動別評価の平均	3.0点未満	3.6点未満 3.0以上	4.2点未満 3.6以上	4.8点未満 4.2以上	4.8点以上
(5) エコオフィス (施設担当部署の取組)	活動別評価の平均	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上

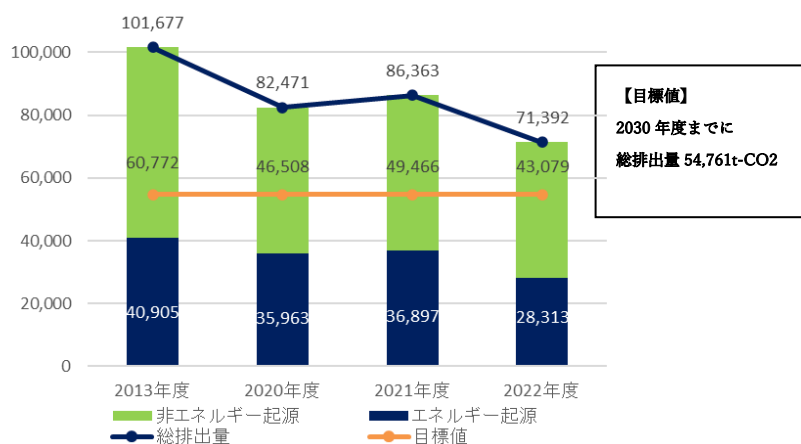
2 活動テーマ別の2022年度実績

(1) 温室効果ガス・エネルギー 評価点 3★★★ (参考資料 p9)

【排出の状況と要因】

2022年度の温室効果ガス排出量は、基準年度(2013年度)から29.8%(30,285t-CO₂)削減し、前年度と比較して17.3%(14,791t-CO₂)削減できました。

温室効果ガス排出量の推移 (t-CO₂)



非エネルギー起源：工業プロセスの化学反応や廃棄物の焼却などで発生する温室効果ガス等
(清掃工場の一般廃棄物の焼却処理や下水処理場の下水処理等)
エネルギー起源：化石燃料の使用により発生する温室効果ガス等
(電気やガス等)

減少の主な要因は、2022年度から、町田市バイオエネルギーセンターで発電したCO₂排出係数の低い電力を利用し下水処理場(鶴見川クリーンセンター)の運転を行ったことや、市庁舎において電力使用量の削減やCO₂排出係数の低い電力を利用したことによるものです。また、小・中学校は、電力使用量が増加したものの、CO₂排出係数の低い電力を利用したことで、排出量を削減することができました。

【目標達成に向けた市の取り組み】

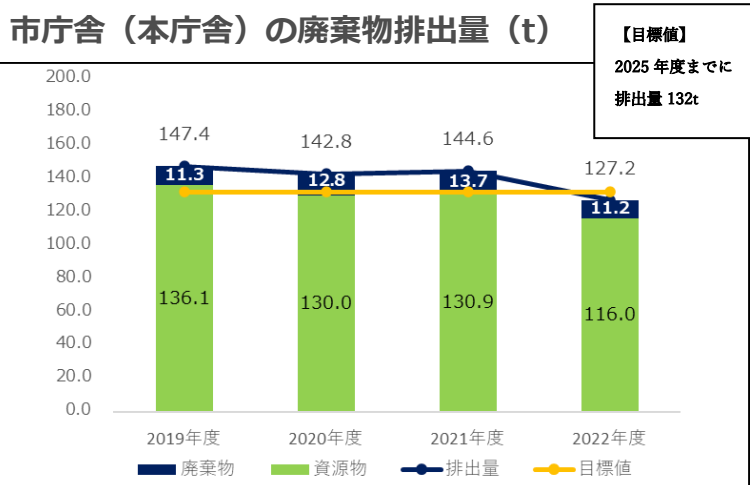
2022年3月に策定した「町田市第5次環境配慮行動計画」では、市役所からの温室効果ガスの削減目標について、これまでの目標から大きく引き上げた「**2030年度までに46%削減(2013年度比)**」という目標値を設定しました。この目標値を達成するためにも、脱炭素化に向けて、施設の省エネ化や再エネ導入などを計画的に行っていきます。

具体的な取り組みの1つとして、CO₂排出係数の低い事業者との電力契約を検討していきます。

(2) 廃棄物 評価点 5★★★★★ (参考資料 p10)

【排出の状況】

2019年度と比較して約 20t (-13.7%)
前年度からは約 17t (-12.1%) 削減することができました。



【目標達成に向けた市の取り組み】

2021年3月に策定した「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン」では、2025年度までに10%削減を掲げており、今後は更なる削減を目指していきます。

業務において、文書の起案・決裁の電子化、ビジネスチャットの活用、タブレットを使用した文書の電子共有の普及などによって、紙購入量の削減が進んでおり、廃棄物の排出量の削減につながっています。

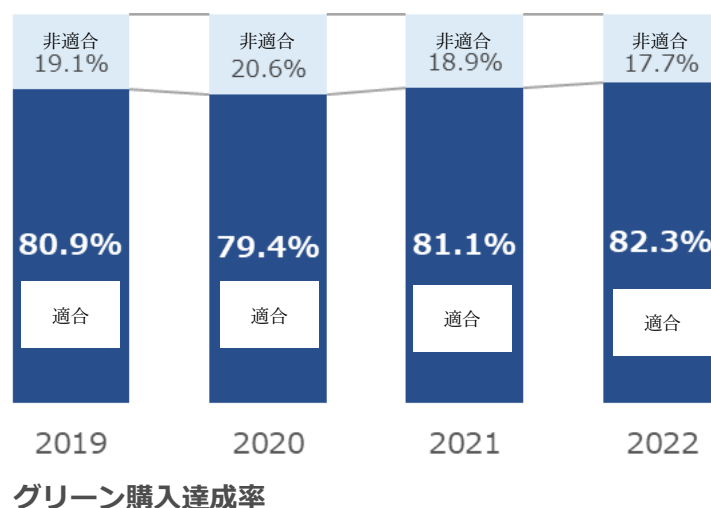
また、市庁舎から排出される事業系ごみは、約90%以上が紙や段ボールなどの資源物となり、リサイクルを行っています。資源のリサイクルには多くのエネルギーが必要であるため、ごみを出さない"Reduce"の取り組みが今後も必要となります。資源となる紙ごみについてはリサイクルボックスに入れること、燃やせるごみ、燃やせないごみ、プラスチックごみの分別を徹底していきます。なお、個人のごみは家庭に持ち帰ることになっています。

(3) グリーン購入達成率 評価点 2★★ (参考資料 p11)

【達成率の状況】

達成率が前年度より 1.2 ポイント上昇し、**82.3%**となりましたが、まだ低い水準となっています。

小中学校では、76.8%から78.6%に上昇し、全体の達成率の増加に大きく影響しています。引き続き、グリーン購入100%を目指した取り組みを進めていきます。



【目標達成に向けた市の取り組み】

全庁の達成率と各部署・各学校の達成率を全庁に通知し、注意喚起を行います。さらなるグリーン購入達成率の向上に向けて、グリーン購入法適合商品・エコマーク商品に特化したカタログから選択・購入する等の取り組みを徹底するように注意喚起をしていきます。

部局の平均達成率（病院除く）

部局名	平均達成率
会計課	100.0%
議会事務局	100.0%
財務部	95.2%
学校教育部(学校以外)	91.9%
生涯学習部	91.6%
政策経営部	91.4%
防災安全部	89.8%
環境資源部	89.7%
保健所	89.5%
いきいき生活部	88.2%
文化スポーツ振興部	88.1%
市民部	86.7%
道路部	86.2%
子ども生活部	82.3%
地域福祉部	81.7%
下水道部	80.9%
学校教育部(学校)	78.6%
総務部	78.5%
経済観光部	76.0%
都市づくり部	73.8%
選挙管理委員会事務局	27.3%
監査事務局	2022実績なし

(4) エコオフィス活動(職員共通)評価点 3★★★ (参考資料 p12)

【活動の状況】

エコオフィス活動における全庁の平均は、4.13 点でした。空調の適正使用及びごみの減量が高評価となりましたが、グリーン購入については 3.6 と一番低い評価となりました。

先述のとおり、グリーン購入は達成率が前年度よりも上昇しておりますが、低い評価となる原因として、年度毎にエコオフィスサポーターの選任が変更することや担当者間での引き継ぎ不足等の理由により、取り組み状況の評価結果において振れ幅が大きくなってしまっていることが挙げられます。

項目		取り組みの例	2022 評価	2021 評価
省 エ ネ ル ギ ー	空調の適正使用	適正な温度設定を行い、使用していない部屋の空調は停止	4.4	4.6
	照明の適正使用	不要な照明はこまめに消す	4.2	4.5
	事務機器の適正使用	長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜く、手元スイッチをオフ	4.1	3.8
	公用車の適正使用	エコドライブ心掛ける 近距離移動時はできるだけ徒歩または自転車を利用	4.2	4.2
	給湯の適正使用	給湯器を有効活用し、電気ポットは使用しない	4.0	3.7
省 資 源	紙使用量の適正使用	印刷要否の精査、電子会議システム等の電子データの活用 出力する際には、2in1・両面印刷等の機能を利用し件数を削減 裏紙の有効活用	4.2	4.3
	ごみの減量	使い捨て製品の使用や購入は控える くるくるコーナーの活用など不要な物品はお互いに融通し、 有効利用を図る	4.4	4.0
他	グリーン購入	グリーン購入のガイドラインに適合するものを優先的に購入	3.6	4.4

 …高評価

 …低評価

【目標達成に向けた町田市での取り組み】

エコオフィスサポーターが年度毎に変更する際にも、意識や評価結果に大きな差が生じないようにチェックシート様式を変更する工夫を行ってまいります。各部署で 2022 年度所管課のチェック結果の分析を行い、所管している施設の特性を踏まえた節電やグリーン購入における注意喚起を呼びかけ、取り組み状況の確認を徹底してまいります。

(5) エコオフィス活動(施設担当部署)評価 5★★★★★ (参考資料 p13)

	定期点検										日常運用								
	熱源					給湯	照明	空調				給湯	照明			空調			動力
	冷温水 出口温度の 適正化	運転圧力の 適正化	フロー量の 適正化	空気比の適 正化	ポンプの流 量、圧力の 適正化	給湯温度・ 循環水量の 適正化	ランプの定 期的な清掃・ 交換	照明スイッ チに点灯範 囲を表示	空調フィル ターの清掃・ 点検	空調運転範 囲の意識化 による無駄 の防止	給湯器の不 要時停止	昼休み時の 照明消灯の 実施	採光を利用 した消灯の 実施	不在時の照 明の消灯	冷暖房温度 の適正な設 定	空室・不在 時の空調停 止	中間期の外 気冷房実施	外気導入量 の適正化	エレベーター の不要時停 止
2022実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.9%	99.0%	90.2%	100.0%	100.0%	97.8%	59.3%	89.0%	99.1%	95.4%	98.2%	98.0%	95.9%	82.2%
2021実施率	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	94.0%	82.1%	98.8%	98.8%	96.9%	50.7%	81.5%	96.9%	95.3%	91.9%	94.8%	92.0%	75.6%

【活動の状況】

定期点検の実施率は「照明スイッチに点灯範囲を表示」がやや低かったものの、その他は95%以上と例年に引き続き高い結果となりました。

日常運用も概ね高い実施率となりました。「昼休み時の照明消灯の実施」前年度から8.6ポイント向上し、59.3%でした。昼休み時のカウンター以外の消灯、始業前・時間外の消灯を徹底するように、各施設の特性を踏まえた取り組みを徹底します。

3 その他

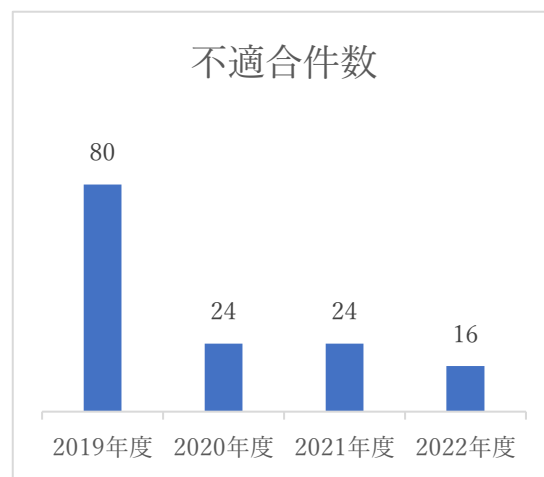
(1) 環境法令遵守状況（参考資料 p16、p40）

【環境法令遵守の状況】

環境法令遵守について、2019年度から「環境法令遵守チェックシート」を用いて、各施設に自己点検を行っていただいております。2022年度は前年度から8件減少し、16件※の不適合件数がありました（次ページ 一覧表参照）。

不適合で一番多かった業務は、フロン排出抑制法に基づく「業務用エアコン・冷蔵庫・冷凍庫等の運用点検及び廃棄」に関連する業務で、必要な点検やメンテナンスがされていないことがわかりました。

また、産業廃棄物の保管基準の遵守がされていない、東京都へのマニフェスト交付等状況報告書の提出漏れなどの不適合案件もありました。



※不適合16件の対応状況内訳（2023年6月調査時点）

2022年度に改善済み 5件

2023年度に改善済み 5件

2023年度に改善予定 6件

【環境法令遵守に関する市の取り組み】

これらの不適合案件は、2023年度中には全て適合するよう改善予定であることを確認しています。

こういった法令不適合を未然に防ぐため、環境法令遵守に関するチェックリストの活用による見落としがなくなる業務の仕組作りや、職員研修などを用いた環境法令遵守の知識と意識の向上をさらに高めていきます。

2022 年度 不適合案件のあった所属 一覧表

根拠法令	対象となる業務	施設名
フロン排出抑制法	業務用エアコン・冷蔵庫・冷凍庫等の運用点検及び廃棄	市民総務課(つくし野コミュニティセンター)
		鶴間小学校
		忠生第三小学校
		小山小学校
		教育センター
		町田第一中学校
		南大谷中学校
廃棄物処理法	産業廃棄物に関連する業務	図書館(鶴川図書館)
		小山中学校
		市民総務課(つくし野コミュニティセンター)
		国際版画美術館
		図書館(町田市民文学館)
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理	堺市民センター
廃棄物処理法	水銀使用製品産業廃棄物の保管及び処分	成瀬台中学校
		国際版画美術館
PCB特別措置法 及び 廃棄物処理法	PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の適正な保管及び処分	いきいき総務課(ふれあいもみじ館)